

## アスファルト道路の汚染状況

石井慶造、石崎梓、藤代史、寺川貴樹、松山成男、菊池洋平

東北大学大学院工学研究科  
生活環境早期復旧技術研究センター

### 1. 目的

福島県の依頼によりアスファルト道路の切片の汚染検査と道路のウェザリング効果を調べる。

### 2. 方法

福島県より依頼されたアスファルト道路の切片をイメージングプレート（曝露時間3日間）でその汚染状況を画像化する。また、アスファルト道路と道路端の空間線量率を測定し、ウェザリング効果を調べる。

### 3. 結果（平成24年7月10日発表）

図1の左にアスファルト切片のイメージングプレートによる表面汚染状況を示す。右図は、イメージングプレートに試料を載せた写真である。図中の番号は、①～④までがアスファルト切片で、①排水性ブロック、②渡利地区車道排水性ブロック、③浪江地区車場、④渡利地区歩道密粒である。⑤～⑦は五百川護岸試料である。図中の数字 $Bq/cm^2$ はGe検出器で測定したものである。

放射性セシウムはいずれも表面に薄く付着しているのが分かる。

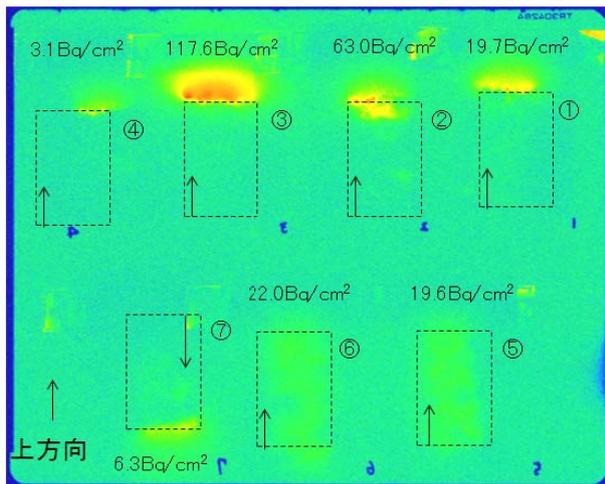


図1 イメージング画像

試料

図2は、アスファルト道路と路肩の空間線量率の測定結果を示す。アスファルト道路はウェザリング効果で路肩の約60%となっていることが分かる。



土手(土、草)  
3.20 $\mu$ Sv/h



道路(アスファルト)  
2.59 $\mu$ Sv/h



田んぼあぜ道  
3.90 $\mu$ Sv/h



道路(アスファルト)  
0.80 $\mu$ Sv/h



道路横の地面  
1.28 $\mu$ Sv/h

飯館村 平成24年6月28日

伊達市（飯館村の近く） 平成24年6月28日

図2 アスファルト道路と路肩の汚染

作成者：石井慶造